



河中だより

- 実力を養う
- 友愛を深める
- 品性を高める

《第23号》

2025年2月3日発行

宇都宮市立河内中学校

校長 森下 薫

地域学校園研修会が行われました

1月22日（水）本校において、今年度最終の河内地域学校園研修会が行われました。今回は各部ごとに今年度の振り返りと、次年度に向けた目標や取組について検討しました。来年度も地区内の児童・生徒の健全な成長を目指して、岡本小、岡本西小、河内中の全教職員が連携して進めてまいります。引き続き、保護者、地域の皆様からのご理解・ご協力をお願いいたします。

【専門部会・分科会】

学力向上 宮っ子心の教育 児童生徒指導 教育相談
健康推進 食育推進 交流推進 図書館教育

【教科部会】

国語 社会 算数・数学 理科 音楽 図画工作・美術
体育・保健体育 技術・家庭 英語 特別支援教育 養護教諭

【運営会議】



第2学年保護者会を開催しました

1月24日（金）5・6校時に第2学年保護者会を開催しました。学校長あいさつ、学年主任の話の後、総合的な学習の時間「宇都宮学」のまとめの発表を、代表生徒8名が行いました。続いて、学習・進路・生活について各担当から話がありました。最後に、2月に実施する立志式・スキー教室について説明をしました。夏休み以降、学校行事や部活動において学校の中心になって頑張っていこうという自覚が出てきた2年生です。来年度に行われる学校行事や大会・コンクール、各種活動での活躍を期待しています。



◆「宇都宮学『魅力あふれる宇都宮』」生徒発表◆

観光



スポーツ



芸術



食文化



東関東アンサンブルコンテストに出場しました

1月26日（日）、茨城県牛久市の牛久市中央生涯学習センターにおいて第30回東関東アンサンブルコンテストが行われました。本校からはクラリネット4重奏が出演し、練習の成果を発揮してきました。



◇クラリネット4重奏 銅賞

保護者・地域の皆様 部活動『休日の地域移行』について

日頃から本校の文化部・運動部の活動にご理解・ご支援を賜り感謝申し上げます。部活動は、学校教育の中で生徒の健全育成のために大きく寄与してきたところですが、国の方針として部活動を地域に移行し、地域全体で子どもたちを育てていくことが示され、現在、全国で地域移行が進められているところです。

宇都宮市においては、学校・地域の実情に応じてゆるやかに地域連携・移行を進めるとの方針が示されました。それに伴い、本市では生徒の活動の機会を確保し、少子化が進んでも持続可能な運営や指導者を確保することなどを目指し、地域の実情に合った方策を検討しているところです。

宇都宮市の基本的な考え方 ～部活動地域連携・移行について～

- ◇背景
 - ・少子化が進み、本市の中学生は15年後には3分の2になり、各校の教員数も減少する
 - ・部活動顧問の約4割は専門外
 - ・現在の部活動の形では維持は困難になり、そうなる前に新たな仕組みが必要
- ◇目的
 - ・生徒の活動機会と活動量の確保
 - ・競技・種目等の経験豊富な指導者の導入
 - ・教職員の負担軽減
- ◇目標
 - ◎令和7年度末までに、各校1つ以上の部活動を「平日は学校部活動で、休日は地域クラブ活動で行う」ことを目指す
 - ◎少子化に耐える新たな枠組み等の在り方を検証するため、モデル事業を実施する

近い将来、児童・生徒の減少が見込まれ、教職員数減、いくつかの部の廃部は避けられません。そこで、河内地区の3校（古里中・田原中・河内中）で部がまとまることにより、現在活動している部を存続させ、かつ教職員の働き方改革にも対応しようという取組を進めていくことになりました。

まずは、休日の活動から始め、今後、総合型地域スポーツクラブ「スポーツかわち」に段階的に委ねる形で取り組んでいくことになります。数年かけて徐々に進めていきますので、現在本校で行っている部活動の運営（指導者・練習形態等）が大きく変わることはありません。部員数や練習形態など各部の状況に合わせて運用するよう進めてまいります。

今後も、子どもたちがやりたい部活動に生き生きと取り組めるよう、生徒の活動機会の確保に努めてまいりますので、保護者の皆さまのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

